

診察室であつ危険ドラッグ依存患者さんの多くは普通の人たち（それなりの学校を出て、それなりの会社に勤め、ちゃんとした家庭を持っている人たち）です。ただ気になるのは、クスリに手を出す以前から、ある種の「生きづらさ」をかかえてきた人たちが意外に多く、そして今は「やめたいのにやめられない」という依存症に苦しんでいます。この人たちは、単に危険ドラッグに対する取り締まりを強化するだけで、危険ドラッグを手放し、苦悩から解放され、健康的な生活を取り戻すことができるでしょうか？

「薬物依存症」は罰や愛では治らないれっきとした病気です。

『危険ドラッグはなぜ「危険」なのか？その恐ろしさと回復のヒント』
松本俊彦著 角川書店より（）

この講演会を通して、多くの方に知っていただきたいと思います。
そして一緒に考えませんか？

d r u g
d i c t i o
n



予約
不要

無料

『危険ドラッグはなぜ「危険」なのか ～その恐ろしさと回復のヒント』

2015年2月6日(金)

14:00～16:00 (開場 13:30)

会場 七生公会堂 (京王線高幡不動駅より徒歩7分)
(日野市三沢3丁目50-1)



対象 一般市民
定員 先着 300 名
※予約不要 直接会場にお越し下さい

主催 日野市

講師 松本 俊彦氏 (医学博士)

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
薬物依存研究部診断治療開発研究室長
自殺予防総合対策センター副センター長



問合せ先 ●日野市健康福祉部セーフティネットコールセンター
TEL : 042-585-1111 (内線 2241, 2242) / E-mail : s-net@city.hino.lg.jp
●NPO 法人ふしけ TEL : 090-4096-7198 (17時～19時) / Email : info@psyche-tsudoi.org